



平成18年1月16日

各位

日本トラスティ・サービス信託銀行

当社におきましては、下記のとおり情報セキュリティ管理に関する認証を取得いたしましたので、ご報告申し上げます。

記

当社は、2005年12月22日付で、国際的に権威のある英国規格「BS7799-2:2002^(注1)」および情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)^(注2) 適合性評価制度の国内規格である「ISMS 認証基準 (Ver.2.0)」の認証を同時に取得致しました。

当社は、かねてより資産管理業務における社会的公器としての自認のもと、お客様の信頼できるパートナーとして資産管理業務および関連するサービスをご提供してまいりましたが、今回の認証取得は、当社の情報セキュリティ管理の「機密性」・「完全性」・「可用性」を国際および国内規格に準拠して体系的に取り組んできたことが客観的に証明されたと言えます。

今後も我が国最大のマスター・トラスティとして、より高度な資産管理サービスを迅速・的確かつ効率的に提供し、お客さまのご期待と信頼にお応えできるよう誠心誠意努力してまいります。

取得内容

<会社名>	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	
<認証基準>	BS7799-2:2002 ISMS 認証基準 (Ver.2.0)	 IS500555/IJ01881
<認証登録番号>	IJ 01881 IS 500555	
<登録範囲>	株式・投信・債券の取引、決済、余資運用、セキュリティーズ・レンディング、権利保全、各種レポート提供、ポートフォリオ管理、投信事務処理、規制・法令遵守、決算処理を含む資産管理サービスに関する情報システムのシステム基盤管理、運用、ユーザーサポート業務 2005年10月3日付適用宣言書(第1.0版)	
<初回認証日>	2005年12月22日	
<認証登録機関>	BSI ジャパン	
<認定機関>	英国認定機関 (UKAS) (財)日本情報処理開発協会 (JIPDEC)	

以上

注1)

【BS7799 ～ British Standard】

- BSI(英国規格協会)によって規定される、企業・団体向けの情報システムセキュリティ管理のガイドラインのことを指します。特にセキュリティの運用管理に重点が置かれている点が特徴です。
- BS7799-1 は情報セキュリティ管理実施基準であり、ISO/IEC17799 として発行されました。BS7799-2 は情報セキュリティ管理システム仕様であり、日本でも ISMS(Information Security Management System)適合性評価制度として派生しています。

注2)

【ISMS ～ Information Security Management System】

- 企業や組織が自身の情報セキュリティを確保・維持するために、ルール(セキュリティポリシー)に基づいたセキュリティレベルの設定やリスクアセスメントの実施などを継続的に運用する枠組みを指します。ISMS に求められる範囲は、ISO/IEC15408 などが定めるような技術的な情報セキュリティ対策のレベルではなく、組織全体に渡ってセキュリティ管理体制を構築・監査し、リスクマネジメントを実施することです。
- ISMS をその組織が保持しているかどうかを第三者が認定する制度が「ISMS 適合性評価制度」と呼ばれる評価認定制度です。現在、日本情報処理開発協会(JIPDEC)を中心に2002年より正式運用されています。
- ISMS の定義としてJIPDECは、「ISMSとは、個別の問題ごとの技術対策のほかに、組織のマネジメントとして自らのリスク評価により、必要なセキュリティレベルを定め、プランを持ち、資源配分してシステムを運用することである」、また、「組織が保護すべき情報資産について、機密性、完全性、可用性をバランス良く維持し改善することがISMSの要求する主なコンセプトである」と設定しています。
 - ・ 機密性:アクセス権を持つ者だけが、情報にアクセスできることを確実にすること。
 - ・ 完全性:情報および処理方法が正確であることおよび完全であることを保護すること。
 - ・ 可用性:認可された利用者が、必要なときに、情報および関連する資産にアクセスできることを確実にすること。